



企画・発行 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 Tel 082-241-1619
協力 中四国ブロック内各赤十字血液センター



近年の献血・供給状況について

中四国ブロックと全国の献血・供給状況をお示します。

血液製剤の供給について、全国的には前年と比べ全ての血液製剤が微減となっております。中四国ブロックにおいては、赤血球製剤、血漿製剤は横這いとなっておりますが、血小板製剤が微減となっております(図1)。

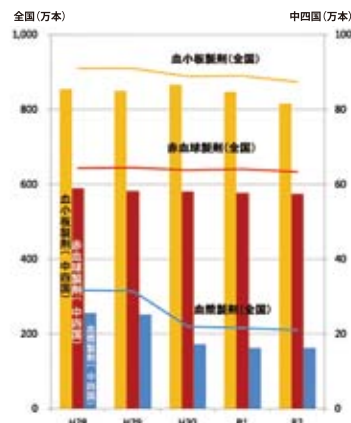
献血者数については、平成30年まで全国的に減少傾向にありましたが、令和元年からは増加に転じ、中四国ブロックでも前年を上回る献血者数となっております(図2)。

献血の申込をしてくださった方の約11%は問診や事前検査により献血不適格となり、前年の献血者数は全国で5,024,859人、中四国ブロックでは453,017人でした。

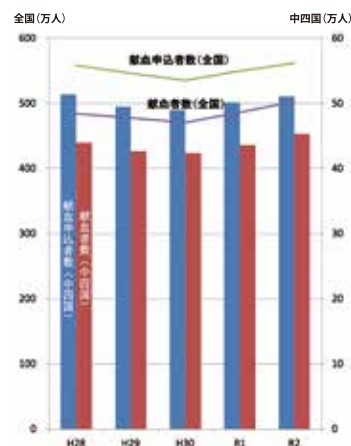
男女別では、全国・中四国ブロックとも同様な傾向にありますが、男性は10代・20代が減少しており(図3)、女性は10代を除く全ての年代が増加しております(図4)。

新型コロナウイルス感染拡大という思いもよらぬ事態により、献血会場の確保が難しくなっているのが現状です。しかし、このような状況にもかかわらず、変わらずご協力くださっている皆様には大変感謝しております。

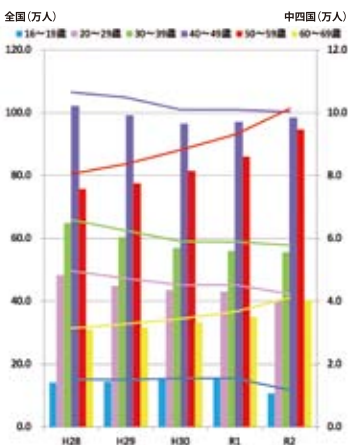
献血は皆様自身の血液によって人命を救うことができるボランティア



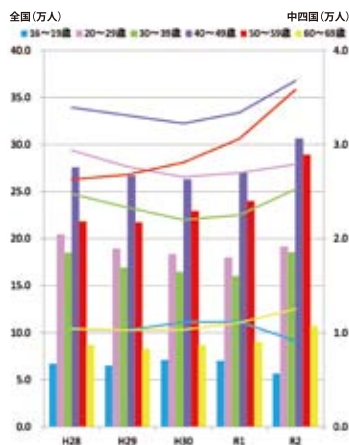
※棒グラフは中四国、折れ線グラフは全国を示す
※単位換算本数は各製剤の単位数を本数に換算した本数
【図1】血液製剤の供給本数(換算本数)



※棒グラフは中四国、折れ線グラフは全国を示す
【図2】献血状況



※棒グラフは中四国、折れ線グラフは全国を示す
【図3】年代別献血者数(男性)



※棒グラフは中四国、折れ線グラフは全国を示す
【図4】年代別献血者数(女性)

です。コロナ禍の出口がまだまだ見えない中、皆様のご健康をお祈りしつつ、引き続き血液事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

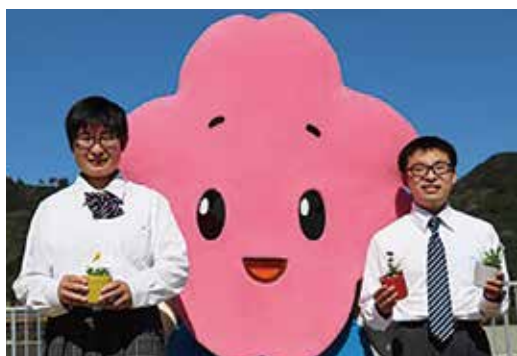
あわせて、輸血用血液製剤の代替品は今のところありません。将来、血液事業を支えていく若い世代の皆様にも献血の呼びかけ・啓蒙をして頂けましたら幸いです。

(中四国ブロック血液センター
需給管理課 三宅雄大)



ウィズ・コロナ時代のウィズ・ボランティア♪

徳島駅前出張所(献血ルーム アミコ)は、「みなと高等学園からお花のプレゼント献血キャンペーン」を行っています。



「私たちが育てました(^^)」

徳島県立みなと高等学園は、平成24年4月に開校した発達障害のある生徒を対象とした特別支援学校で、社会的・職業的自立に向けた教育を行っています。同校の生産サービス科で栽培した**季節の花**を献血者にプレゼントする取り組みを平成27年から毎年2回実施し、共生社会への思いを感じられる人気のキャンペーンとして定着しています。

これまでのキャンペーンでは、**生徒と教職員が街頭で献血協力を呼びかけるとともに、自分たちが育てた花ポットを献血者に手渡す**活動を行ってきました。



6月はサルビア、マリーゴールド



12月はビオラ



しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、キャンペーンへの参加生徒数の制限や献血者との接触軽減を図る等、活動内容の見直しが必要となり、令和2年6月のキャンペーンでは生徒が参加できませんでした。

そこで、少しでも献血者と生徒の想いが通い合えるよう、**献血者からのメッセージボードを贈りました。**

令和2年12月には感染対策を徹底したうえで生徒が参加してキャンペーンを実施しました。

献血ルームアミコでは、これからも**ウィズ・コロナ時代の新たな献血協力の呼びかけ方法を、協力団体と力を合わせて取り組んで参ります。**



看護師から贈呈

